

Iwatani

ガソリック ブルーダー

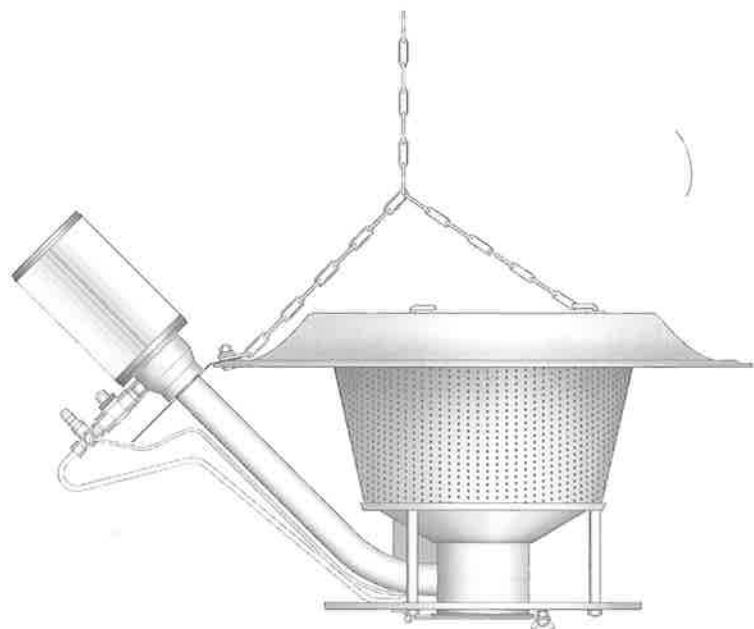
G12-Asco

取扱説明書 設置・工事説明書

このたびは当社のガソリックブルーダー（以下、器具と呼称します）をお買い上げいただき、ありがとうございます。

安全にご使用いただくために、器具を使用する前にこの取扱説明書をよく読み、十分に理解したうえで、ご使用ください。

- *この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管し、使用方法がわからないときにお読みください。
- *ご不明な点がございましたら当社または、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



岩谷産業株式会社
自然産業本部

ガス配管工事および付帯設備の取付工事は、液化石油ガス設備士等の資格、電気配線工事は電気工事士等の資格が必要です。
資格のある業者に依頼し、正しい工事を行ってください。

目次

1. ご使用の前に	
• 安全上のご注意	2~6ページ
• 各部の名称と仕様	7~9ページ
2. ご使用方法	10~13ページ
3. 点検・お手入れ	14~16ページ
4. 故障かな?と思ったら	17~18ページ
5. アフターサービスについて	19ページ
6. 設置・工事をされる方へ（設置・工事説明書）	
• 器具設置上の注意・設置場所の確認	20ページ
• ガス配管施工事業者の方へ	21~22ページ
• 電気配線施工事業者の方へ	23ページ
• コントローラーの配線	24ページ
• 端子ソケットの配線	25ページ
7. 保証書	

ご使用前に 安全上のご注意

◎ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

◎ここに示した注意事項は、器具を正しく安全にお使いいただき、使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

◎誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの四つに区分しています。

危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い

危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただきたい内容を示しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者および購入者から器具を譲渡された人なども含みます。

絵表示の例



△記号は、**危険**が想定される内容や、**警告・注意**を促す内容があることを告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容がかかれています。
左図の場合は、「一般的注意」を示します。



分解禁止

○記号は、**禁止の行為**であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容がかかれています。
左図の場合は、「分解禁止」を示しています。



確認

●記号は、行為を**強制**したり**指示**したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容がかかれています。
左図の場合は、「確認」をしていただく指示内容を示しています。

ご使用前に 安全上のご注意

危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

ガス漏れ時の処置について



禁止

- ガス漏れに気がついたときは、すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じて、窓や戸を全開にし、ガスを戸外に排出してください。
点検と補修をお買い上げの販売店または、ガス事業者に依頼してください。



火気禁止

- 処置が終わるまで、絶対に火をつけたり、電気器具（換気扇など）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話は、使用しないでください。
火や火花で引火し、爆発事故をおこすことがあります。

設置場所について



禁止

- この器具は畜舎内に設置する家畜用の暖房器具です。人の居住する部屋や、畜舎以外の気密性の良い建物などで使用しないでください。
不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

異常を感じた時



危険

- 畜舎内で、異臭・めまい・頭痛等の体に異常を感じた場合は、早急に畜舎から出てください。
一酸化炭素の発生または、酸素不足が考えられ、死亡事故を起こす可能性があります。畜舎内の換気を十分に行ってから原因を調査してください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が想定される内容を示しています。

使用ガス・電源について



確認

- LPガス（プロパン い号以上）以外で使用しないでください。
LPガス以外のガスで使用すると、爆発点火や異常燃焼などの原因になります。
- この器具の電源は AC100V 50Hz/60Hzです。他の電源で使用すると火災・漏電・感電・器具の故障の原因となります。
- ガス配管工事および、ガス供給に係わる付帯設備の取付工事は、液化石油ガス設備士などの資格のある業者に、電気工事は電気工事士などの資格のある業者に依頼し、20ページ以降の「設置・工事をされる方へ」を必ず見せてください。
ガス配管工事および電気工事に不備があると、火災の原因になります。

ご使用前に 安全上のご注意

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

高温部に注意



接触禁止

- 使用中、使用直後は、バーナ部や反射板などの高温部には触れないでください。やけどのおそれがあります。

感電に注意



ぬれ手禁止



感電注意

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しや、運転操作をしないでください。感電のおそれがあります。

ガスホースの配管について



禁止

- ガスホースは器具の近くに配管しないでください。器具に近づけたり触れたりすると、熱によりガスホースが劣化したり、溶けたりし、ガス漏れするおそれがあります。

点検について



高温注意

- 使用中、使用直後は器具の各部が熱くなっています。点検を行う際には、各部の熱が冷めていることを確認してから行ってください。また、必ずガス接続口（ホースソケット）からガスホースをはずしてください。

換気について



換気注意

- 運転中は、畜舎内の一酸化炭素ガス濃度を考慮しながら燃焼を行い、長時間連続して使用する場合は、必ず定期的に換気をしてください。換気量が不十分な状態で使用すると、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

ご使用前に 安全上のご注意

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置上の注意



禁止

- この器具は、畜舎内に設置する器具です。以下の場所での設置・使用・保管は、さけてください。
故障または、思わぬ事故の原因となります。
 - ・ 器具が確実・強固に吊り下げられないような場所や、不安定な場所。
 - ・ 屋外など雨、風、雪に直接さらされる場所。
 - ・ 使用後の点検・修理などできないような場所。
 - ・ スプレー、ベンジン、ガソリン、灯油や業務用薬品など、引火性の危険物がある場所。
 - ・ 雨天時に濡れたりするおそれのある場所。
 - ・ 雾困気温度が40℃をこえる場所。
 - ・ 器具から可燃物まで1m以上の距離がとれない場所。

修理について



分解禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に器具を分解したり、改造・修理しないでください。
異常動作やけがなど、思わぬ事故の原因になります。

お願い

危険・警告・注意の項目以外で、特に守っていただきたい内容を示しています。

設置時のお願い

- 中間バルブ(コック)は器具とガス管の間の手の届く所に取り付けてください。
- 器具をチェーンに掛けて使用する場合は、確実に吊り下げてください。

運転時の注意

- 運転中はときどき正常に燃焼していることを確かめてください。また、畜舎内の温度に注意し、家畜の状態を確認してください。
ガス圧の低下等で正常に燃焼できないと、畜舎内の温度低下により、家畜が死亡することがあります。

点火・消火の確認

- 使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

ご使用前に 安全上のご注意

お願い

危険・警告・注意の項目以外で、特に守っていただきたい内容を示しています。

運転停止時の注意

- 運転を停止するときは、ガス入口の中間バルブ(コック)を締めてから、電源プラグを抜いてください。電源を切っただけでは、パイロットバーナは消えませんが、注意してください。

日常の点検・お手入れについて

- 点検・お手入れは、手袋などで指先を保護し、器具が十分に冷えてから行ってください。
この器具は防水仕様ではありません。電磁弁などのガスコントロール部に水や洗剤が入ると、故障や異常燃焼の原因になりますので、水洗洗浄をするときは、十分に注意をしてください。

長期間使用しない場合

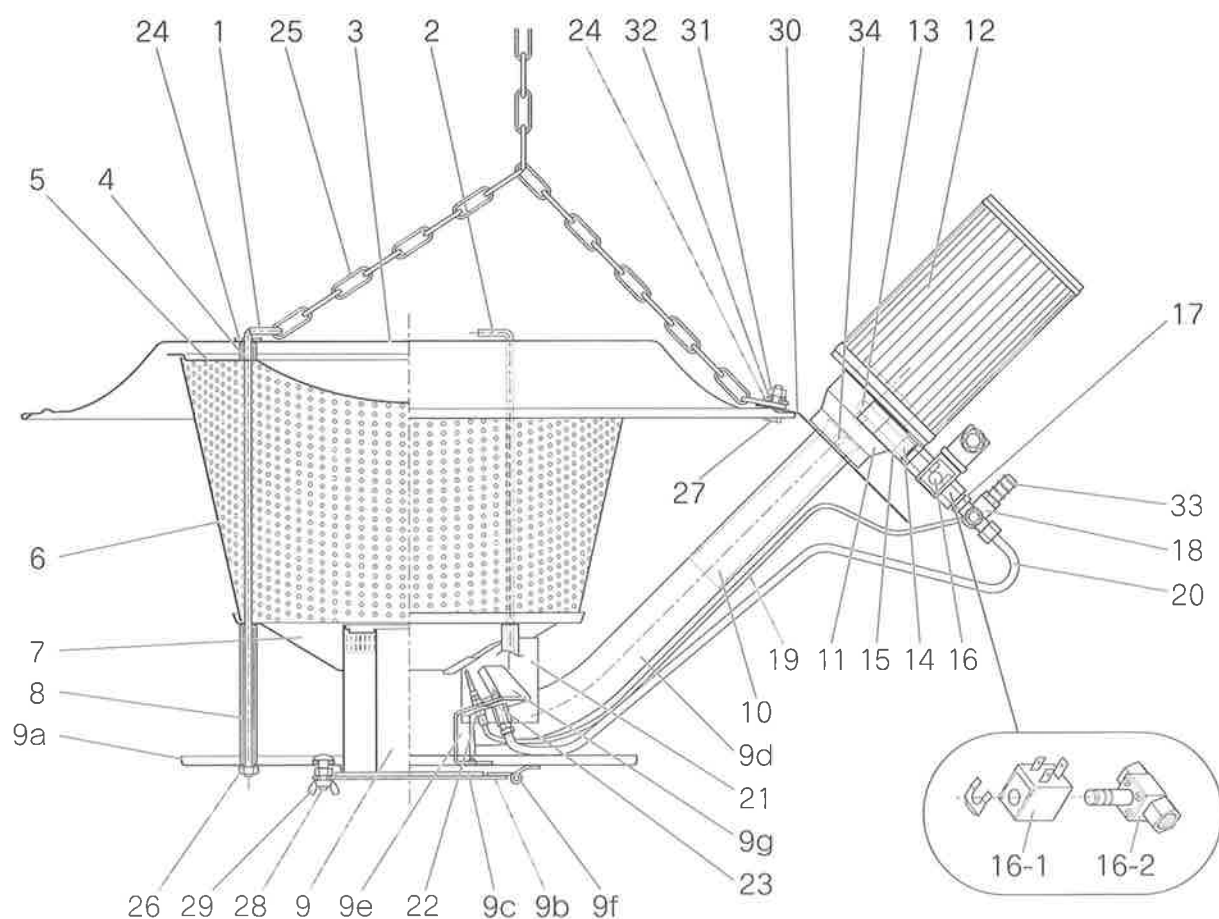
- 長期間使用しない場合は、ガス漏れを予防するために、元栓と中間バルブ(コック)を閉じてください。
ガスホースをはずした際には、必ずガス接続口(ホースソケット)にキャップをし、器具にはポリ袋などをかぶせ、虫などが入らないようにしてください。
また、保管する場合、雨、風、雪に直接さらされる場所や、雨天時に冠水する場所での保管はしないでください。

定期点検について

- 器具を長期間安心してより長く使用していただくために、2～3年に一回程度の定期点検をおすすめいたします。(19ページ参照・点検は有料です)

各部の名称と仕様

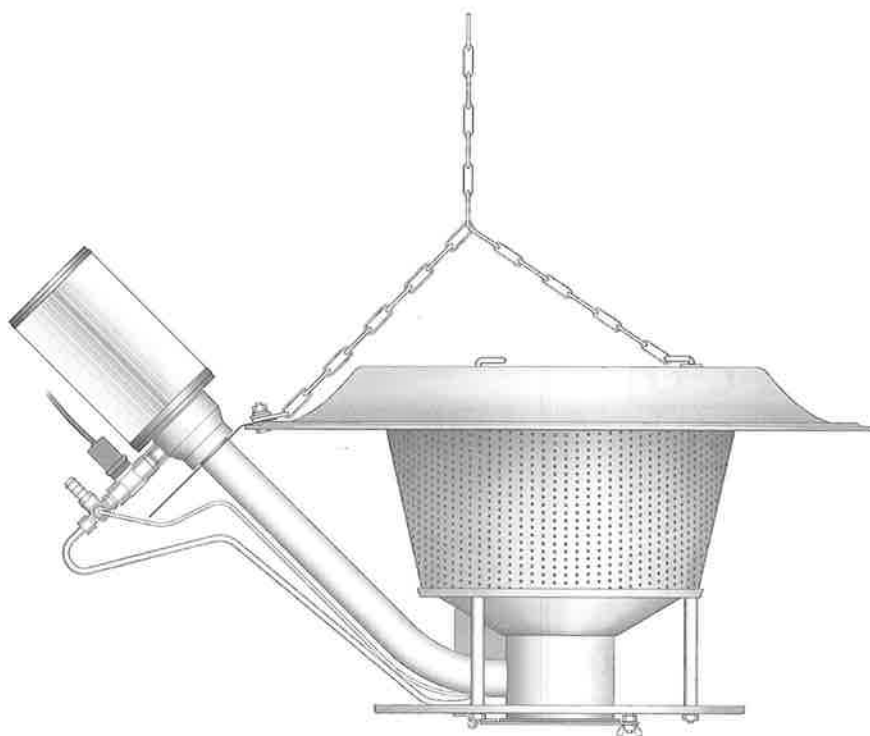
各部の名称



No.	部 品 名	No.	部 品 名	No.	部 品 名
1	アイ支柱	9g	パイロットフレームガイド	22	サーモカップルホルダー
2	支柱	10	ベンチュリ	23	G12パイロットノズル
3	反射板	11	アダプター	24	ワッシャー (2x)
4	短パイプ	12	G12フィルター	25	チェーン
5	放熱板上部板	13	G12メインノズル	26	ロックナット (3x)
6	放熱板	14	ノズルホルダー	27	ネジM6
7	放熱板下部板	15	ノズル固定具	28	ネジM6 (回転止め付き)
8	長パイプ	16	G12電磁弁 (組)	29	G12蝶ナットM6
9	バーナ	16-1	G12電磁弁 (コイル部)	30	バーナパイプサポート
9a	バーナ底板	16-2	G12電磁弁 (ボディ部)	31	ナットM6
9b	ガasket押板	17	ブッシング	32	ロックリング
9c	ガasket	18	G12シャットオフバルブ	33	G12ホースソケット
9d	バーナパイプ	19	G12サーモカップル	34	ネジM5×10
9e	G12パイロットブラケット	20	G12パイロットガスパイプ		
9f	ヒンジ	21	G12パイロットカバー		

各部の名称と仕様

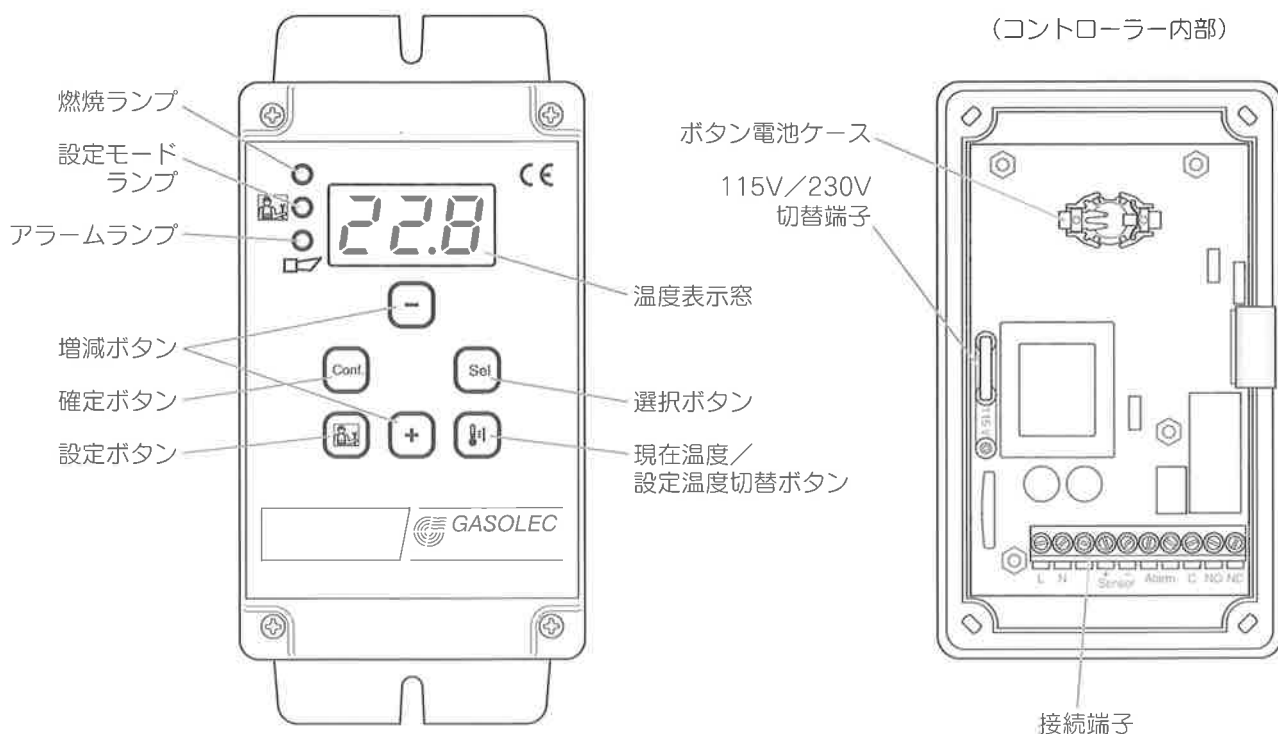
仕 様



項 目		仕 様
商 品 名		ガスリックブルーダー
型 式		G12-Asco
基 本 仕 様	ガ ス 種	LPG (い号以上)
	使用圧力 (kPa)	2.8±0.5
	ガス消費量 (kW) (kcal/h)	12.3 (10,600)
	ガ ス 接 続 口	ホースソケット
	電 源	単相 AC100V (50/60Hz)
	質 量 (kg)	6.8
外形寸法 (W×D×H mm)		550×550×450 (放熱板部のみ)
点 火 方 式		パイロット (種火) 方式
立 消 え 安 全 装 置		サーモカップル式
燃 焼 形 式		自然燃焼
メーンバーナの形状		ステンレスプレスバーナ

各部の名称と仕様

コントローラー



項 目	仕 様
型 式	TD1-15II
電 源	単相 AC100V (50/60Hz)
定 格 電 流	6A
温 度 表 示	℃ (デジタル表示)、0℃~50℃
温 度 セ ン サ ー	30cm温度センサー付 * 最長80mまで延長可能 (0.75mm ² 使用時) * G12を15台まで並列接続可能

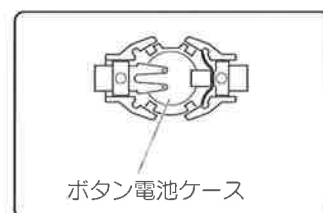
ご使用方法

コントローラーの使用方法

•コントローラー使用前の準備について

- 1.コントローラーのケースを止めているネジ4本をはずしてください。
使用する電源（230Vまたは115V）にあわせて、切替端子を差し替えてください。
（詳細は24ページ参照）

- 2.ボタン電池（CR1225 3V）を電池ケースに取り付けてください。（上が+になります。）



•LEDランプと各種ボタンについて

1.燃焼ランプ

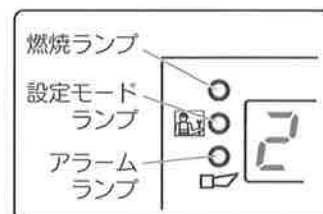
器具のバーナが燃焼しているときに「点灯」し、消火しているときは「消灯」します。

2.設定モードランプ

温度設定などをするとき、設定ボタンを押したときに「点灯」します。通常の運転中は「消灯」しています。

3.アラームランプ

電源供給に問題がある場合や、センサーに異常があるときに「点灯」します。



4.現在温度／設定温度切替ボタン

「設定温度」を確認するときに、このボタンを押してください。

温度表示が「点滅」し、「設定温度」が表示されます。

もう一度押すと「点滅」が「点灯」に変わり、現在の室温が表示されます。

※各ボタンの操作は軽く押してください。強く押し過ぎると故障の原因になります。

5.設定ボタン

各種設定をするときに、このボタンを使用します。

6.増減ボタン

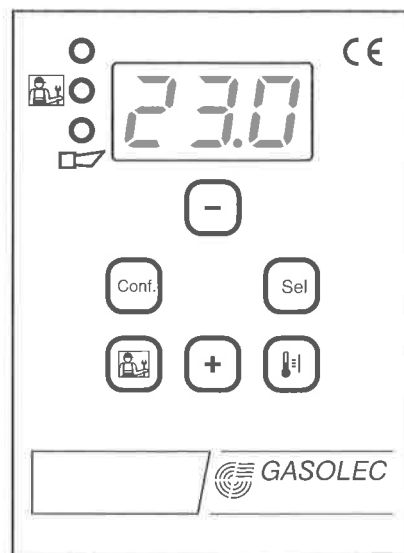
各種設定時、数値の増減をするときに使用します。

7.確定ボタン

各種設定を確定するときに使用します。

8.選択ボタン

各種設定をするときに使用します。



ご使用方法

● 設定の変更方法について


1. 設定温度の変更 (メニュー 1)

1) 設定ボタン  を押してください。

設定モードランプが「点灯」します。(もう一度押すと、元の状態に戻ります。)


2) 温度表示窓にメニュー番号「1」が表示されます。

3) 確定ボタン  を押してください。(表示が点滅します。)

4) 選択ボタン  を押してください。現在の設定温度が表示されます。

5) 設定温度を変更する場合は、増減ボタン  または  を押して、希望の温度に合わせてください。

6) 確定ボタン  を押してください。(表示が点滅します。)

7) 選択ボタン  を押してください。(メニュー番号が表示されます。)

8) 設定を終了させるには設定ボタン  を押してください。




2. 運転する温度幅を設定してください。(メニュー 4)

設定温度に対して、室温がどれだけ下がればバーナを再着火させるかの、温度幅を設定します。(温度センサーの設置場所にもよりますが、通常は0.5です。)

1) 設定ボタン  を押してください。

設定モードランプが「点灯」します。(もう一度押すと、元の状態に戻ります。)


2) 温度表示窓にメニュー番号「1」が表示されますので、増減ボタン  を押して「4」に合わせてください。

3) 確定ボタン  を押してください。(表示が点滅します。)

4) 選択ボタン  を押してください。

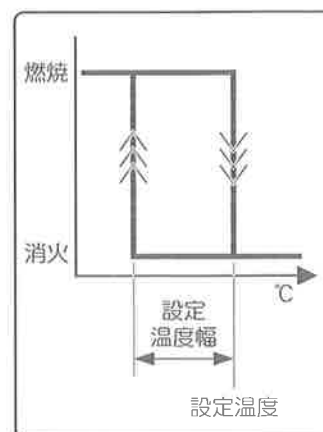
5) 増減ボタン  または  を押して「0.5」に合わせてください。

6) 確定ボタン  を押してください。(表示が点滅します。)

7) 選択ボタン  を押してください。(メニュー番号が表示されます。)

8) 設定を終了させるには設定ボタン  を押してください。

例：設定温度が25℃、温度幅を0.5に設定したときは24.5℃で燃焼が始まり、25℃で消火するサイクルになります。





ご使用方法

3. 温度表示は摂氏を選択してください。(メニュー8) 《工場出荷時には、摂氏に設定されています。》



1) 設定ボタン  を押してください。


設定モードランプが「点灯」します。(もう一度押すと、元の状態に戻ります。)


2) 温度表示窓にメニュー番号「1」が表示されますので、増減ボタン  を押して「8」に合わせてください。

3) 確定ボタン  を押してください。(表示が点滅します。)



4) 選択ボタン  を押してください。

5) 増減ボタン  または  を押して「0」に合わせてください。

6) 確定ボタン  を押してください。(表示が点滅します。)

7) 選択ボタン  を押してください。(メニュー番号が表示されます。)

8) 設定を終了させるには設定ボタン  を押してください。

※各種設定を変更するとき、手順6)の確定ボタン 、手順7)の選択ボタン  を押し忘れると設定が確定しないので、注意してください。

※このコントローラーは、畜舎内の温度を0℃～50℃の範囲で、設定することができます。

ガスホースの確認

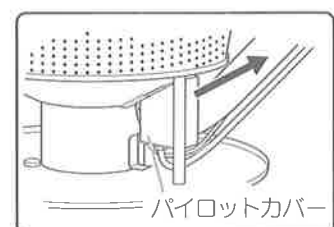
- 「LPガス用ゴム管」を確実に接続し、ホースバンドで固定してください。

ガス栓を開く

- 器具へのガス接続が確実に行われていることを確認したのち、ガス栓を全開にしてください。

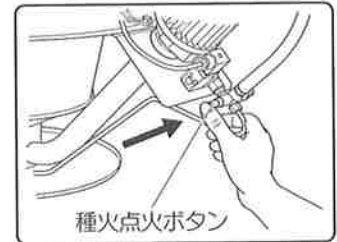
運転を開始する

1. コントローラーの設定温度を最低温度にしてください。
(11ページ参照)
2. パイロットカバーを手前に2cmほどスライドさせてください。



ご使用方法

3. 種火点火ボタンを指で押し続けながら、点火棒（ガスマッチ）でパイロットバーナ（種火）に点火してください。
4. 種火に点火後も、種火点火ボタンを約10秒間程度、押し続けてください。
5. 種火点火ボタンから手を離しても、種火が消えないことを確認してください。



※ガス配管後に始めて点火するときや、長時間使用しなかった場合は、配管内に空気がたまり、点火しない場合があります。
この場合は配管内の空気が抜けるまで、再度点火操作を繰り返してください。

6. コントローラーの設定温度を現在の室温（デジタル表示されている温度）より1℃以上、上げてください。
コントローラーの燃焼ランプが点灯し、器具の電磁弁が開いて燃焼を開始します。

※コントローラーの設定温度が現在の室温より低いと、電磁弁が開かず、バーナに着火しません。

※着火時には燃焼状態を確認してください。



確認



※バーナに着火後は、コントローラーの設定温度を、希望の温度に調節してください。

運転を停止する

- 運転を停止するときは、ガス入口の中間バルブ（コック）を締めてから、電源プラグを抜いてください。
電源を切っただけでは、パイロットバーナは消えませんので、必ず中間バルブ（コック）を締めてください。

※確実に消火していることを確認してください。



確認

※器具の燃焼を一時的に停止したいときは、コントローラーの設定温度を最低温度にしてください。バーナが消火し、パイロットバーナだけの燃焼になります。

点検・お手入れ

- 使用上、支障がない場合でも、安全により長く、使用していただくために、日常点検を定期的に行ってください。点検の際には、必ず電源を切り、器具からガスホースをはずしたのち、器具が十分に冷えてから行ってください。



接触禁止

- 使用中、使用直後は、バーナ部や反射板などの高温部には、触れないでください。
やけどのおそれがあります。

日常の点検

点検箇所	点検のしかた	処置方法
器具の周辺の確認	<ul style="list-style-type: none"> • 器具の周りに燃えやすいものをおいていませんか？ • チェーン及び取付部に腐食はありませんか？ 	<p>取り除いてください。</p> <p>取替え又は補修。</p>
器具本体	<ul style="list-style-type: none"> • 器具上部にほこりなどが付着していませんか？ 	取り除いてください。
	<ul style="list-style-type: none"> • フィルターが目詰まりしていませんか？ 	15～16ページの手順で、清掃してください。
	<ul style="list-style-type: none"> • 放熱板にすすが溜まり、空気孔が目詰まりしていませんか？ 	
	<ul style="list-style-type: none"> • パイロットノズルは1ヶ月ごとに清掃を行ってください。 	
ガス配管の確認	<ul style="list-style-type: none"> • 器具の外観に異常はありませんか？ • 運転中に器具からの異常音や不快な臭いなどはありませんか？ 	お買い求めの販売店またはガス事業者に連絡してください。
	<ul style="list-style-type: none"> • 配管の腐食・損傷はありませんか？ • ホースにひび、割れ、損傷はありませんか？ • ガス漏れによる器具や配管からのガスの臭いはありませんか？ 	

点検・お手入れ

お手入れのしかた

● 器具のお手入れ

器具の汚れは、硬く絞った布で拭き取ってください。

ベンジンやシンナーなどは使わないでください。器具の故障や表示類が消える原因となります。

※器具は防水仕様ではありませんので、畜舎内を水洗洗浄するときには、器具にカバーをして、水がかからないようにしてください。



注意

- 器具は防水仕様になっていません。

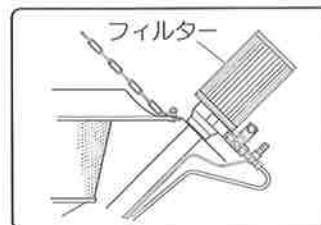
電磁弁部などに水や洗剤が入ると、故障の原因になりますので、水洗洗浄をするときは、十分に注意してください。

● フィルターのお手入れ

フィルターは1週間に1回程度、または1サイクル使用するたびにコンプレッサーなどで、ほこりを吹き飛ばしてください。

水洗いするときは、石けん水で洗ったのち、すすぎ洗いをしてください。水洗いをしたときは、よく乾かしてから使用してください。

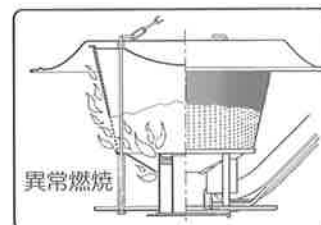
フィルターを乾かさずに使用すると、不完全燃焼の原因になることがあります。



● 放熱板のお手入れ

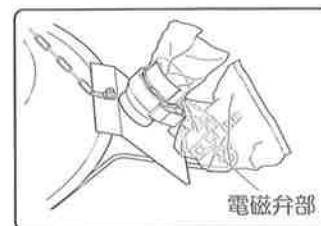
放熱板にすすが溜まり、空気孔が目詰まりするとバーナ部に十分な空気が供給されず、右図のように放熱板の外側で燃焼する異常燃焼となります。

放熱板は常にきれいで、すすの無い状態で使用してください。



1. 放熱板に溜まったすすは、金ブラシまたは、高圧洗浄機とコンプレッサーで清掃してください。

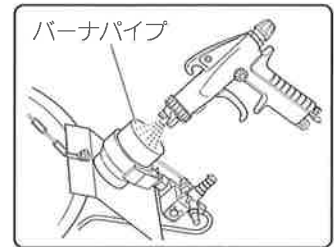
高圧洗浄機を使用する場合には、電磁弁部とバーナパイプのアダプター部をビニール袋などで覆い、水が入らないように注意してください。



点検・お手入れ

●バーナパイプのお手入れ

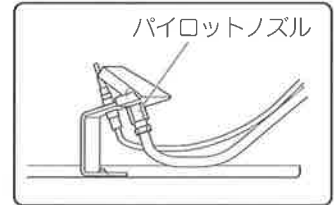
バーナパイプ内のゴミやほこりをコンプレッサーのエアで吹き飛ばしてください。



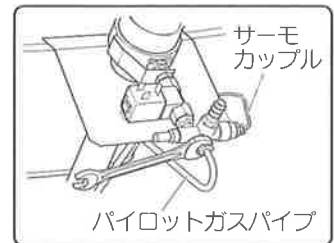
●パイロットノズルのお手入れ

1ヶ月に1回程度、パイロットノズルの清掃を行ってください。パイロットノズル孔が詰まった状態で運転を続けると、次のような症状が発生します。

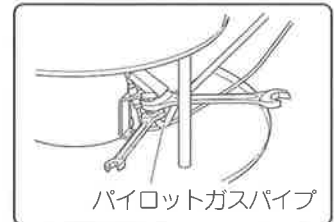
- 1) 種火が着火しない。
- 2) 種火に着火するが途中で消える。(種火が持続しない)
- 3) メインバーナに着火するとき、爆発着火になる。



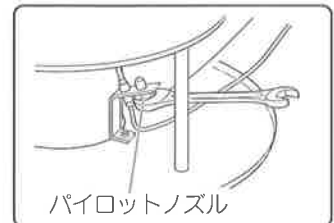
1.パイロットガスパイプとサーモカップルを、シャットオフバルブから取りはずしてください。



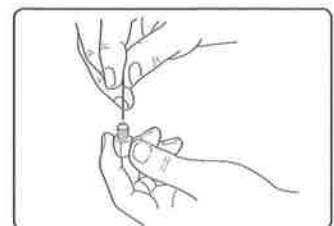
2.パイロットカバーを手前にスライドさせて抜き取り、パイロットガスパイプをパイロットノズルから取りはずしてください。このとき、スパナでパイロットノズルを固定しながらパイロットガスパイプの六角ナットをゆるめてはってください。



3.パイロットノズルを反時計方向に回して、取りはずしてください。

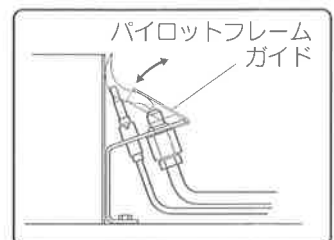


4.パイロットノズルを針などで清掃してください。



●パイロットフレームガイドの角度調整

種火がサーモカップルに正しく当たっていないと、種火が点火しない、あるいは着火後、種火が消えるという症状がおきます。種火がサーモカップルの先端に当たるように、パイロットフレームガイドの角度を調整してください。



故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	不具合の処置
種火が点火しない。	中間バルブ(コック)が全開になっていますか？	全開にしてください。
	ガス容器の圧力は十分にありますか？	新しい容器と交換。
	配管内に空気が残っていませんか？	点火操作を繰り返してください。
	中間バルブ(コック)のヒューズが作動していませんか？	一端コックを閉めて再度開ける。 (2~3回繰り返す)
	パイロットバーナのノズルが詰まっていますか？	ノズルを掃除する。
種火は点火するが点火ボタンから手を離すと消える。又はその後、消える。(種火が持続しない)	種火の奥にあるサーモカップルに、種火の炎が正しく当たっていますか？	正しい位置に調整。 (パイロットフレームガイドの角度を調整してください。)
	サーモカップルの先端でなく、下の胴体部に炎が当たりすぎていませんか？	
	種火の炎が弱くありませんか？	ノズルを掃除する。
	サーモカップルが損傷していませんか？	お買い求めの販売店に修理・交換を依頼してください。
メインバーナの着火時に爆発着火になる。	種火の炎が弱くありませんか？ (ローソクが燃えているような状態)	ノズルを掃除する。
メインバーナに着火しない。	種火の炎が弱くありませんか？	ノズルを掃除する。
	コントローラーの温度設定が適正になってますか？ (現在の室温よりコントローラーの温度設定が低い)	温度設定を高くする。
	コントローラーへの供給電圧は正常ですか？ (電圧が低いと器具の電磁弁が正常に開かないことがあります。)	電気工事店に点検・修理を依頼してください。
	コントローラーのジャンパー線が正しく端子に接続されていますか？	正しく接続してください。

故障かな？と思ったら

こんなとき	お調べいただくこと	不具合の処置
放熱板が赤火状況又は真赤にならない	エアフィルターが詰まっていますか？	掃除をしてください。
	ガス圧が不足していませんか？ (ガス圧が不足するとガスボンベから遠い方の器具ほど燃焼が弱くなります。)	ガス事業者に連絡してください。
	コックが詰まりかけていませんか？	
	メインバーナのノズルが詰まりかけていませんか？	コンプレッサー等のエアでほこりを吹き飛ばしてください。
	サーモカップルが損傷していませんか？	お買い求めの販売店に修理・交換を依頼してください。
種火点火ボタンを押さなくてもガスが出る。	シャットオフバルブが損傷していませんか？	お買い求めの販売店に修理・交換を依頼してください。
種火(ノズル)からガスが漏れる。	シャットオフバルブが損傷していませんか？	
コントローラーの設定温度を変えても、燃焼・消火が切り替わらない。	温度センサーが適正な位置に取り付けられていますか？	所定の位置に取り付ける。
	温度センサーのコードがコントローラーの端子に正しく結線されていますか？ また、途中で切断されていませんか？	正しく結線してください。
電源を入れても、コントローラーのデジタル表示が点灯しない。	コントローラーの電源端子、及び温度センサーの端子への結線がゆるんでいませんか？	ドライバーで締め直してください。
コントローラーが設定通りに作動しない。	ボタン電池の電圧が低下していませんか？ (電圧が低下すると、運転温度などの設定が、工場出荷時の設定に戻ることがあります。)	電池を新しいものと交換してください。
デジタル表示は点灯するが、異常表示が出る。	温度センサーの端子への結線がゆるんでいませんか？	ドライバーで締め直してください。
	温度センサーのコードや、延長しているコードが損傷したり、切れていませんか？	交換してください。

アフターサービスについて

サービスのお申し込み

- 不具合、異常が起きたとき、修理を依頼する前に17・18ページの「故障かな?と思ったら」をみて、もう一度確認してください。
確認のうえ、それでも正常な状態に戻らない場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理しないで、お買い求めの販売店、またはガス事業者に連絡してください。
なお、連絡されるときは、器具の型式またはタイプを確認し、下記のことを連絡してください。
 1. 名称・型式……ガソリック ブルーダー (G12-Asco)
 2. 故障または異常の内容・問い合わせたい事項 (できるだけ詳しく)
 3. ご住所、お名前、電話番号、道順 (できるだけ詳しく)

保証・補修について

- 器具の故障については保証書に記載されているように、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無償修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、保証書を大切に保管してください。
- 無償修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの弊社営業所にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理 (有料) いたします。

定期点検のおすすめ(有料)

- 使用上支障のない場合でも長期間安全にご使用いただくために、定期点検を受けられることをおすすめいたします。
定期点検は、お買い求めの販売店または、もよりの弊社営業所にご相談ください。
この場合、有料となります。

設置・工事をされる方へ

- LPガスの配管工事および付帯設備の取付工事は、液化石油ガス設備士などの資格、電気配線工事は電気工事士などの資格が必要です。
ガス配管工事、電気配線工事及び保守点検作業は資格のある業者に依頼し、正しい工事を行ってください。
- 施工・工事終了後は、必ずこの取扱説明書に従って操作し、試運転を行ってください。
- 設置工事終了後は、使用上の注意事項、正しい使用方法をお客様に説明してください。
また、この取扱説明書を必ずお客様に渡してください。

器具設置上の注意

- 器具を吊り下げて使用するときは、必ず金属製のチェーンか、ワイヤーを使用してください。
プラスチック系のチェーンや、ロープは使用しないでください。火災や、器具の落下の原因となります。
- ガスホースや電源コードを器具に近づけたり、触れたりしないようにしてください。
熱によりガスホースや電源コードが劣化したり、溶けたりし、火災や、ガス漏れなどの原因となります。

設置場所の確認

設置場所を決めるときは、次の事項をよく確認してから決めてください。

- 設置場所を決めるときは、お客様とよく相談し、安全な場所に設置してください。
- 器具を吊り下げたときに、荷重に耐える強度のある場所に設置してください。
- 引火性の危険物（ガソリン・灯油・ベンジン・接着剤・業務用薬品など）の近くに設置しないでください。
- 十分に換気のできる場所に設置してください。
- 雨・風・雪に直接さらされる場所や、雨天時に水がかかる場所には設置しないでください。
- 器具から可燃物まで1 m以上の距離がとれる場所に設置してください。

設置・工事をされる方へ

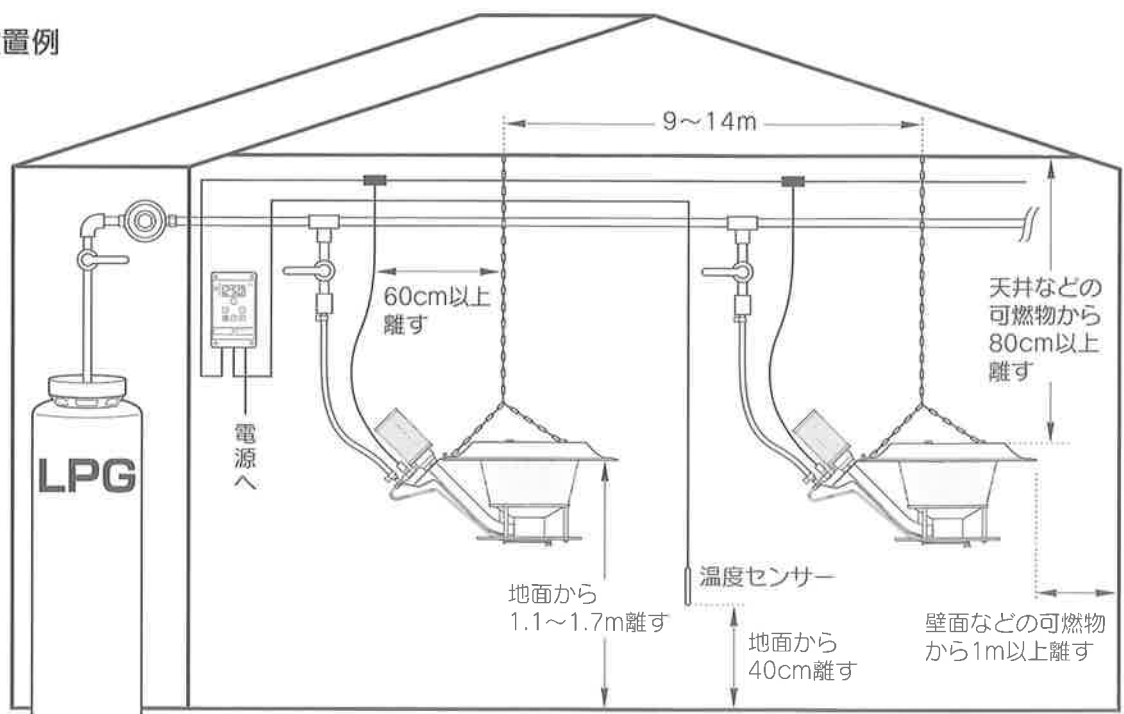
ガス配管施工事業者の方へ

- ガス配管工事は、ガス供給事業者の指示に従ってください。
- ガス配管工事は、液化石油ガス設備士の資格のある方が施工してください。
- 使用されるボンベ容器の本数が少なかったり、配管が細かったりすると、器具への供給ガス圧が低くなり、不完全燃焼の原因となります。
- ガス配管中は器具に近い場所に必ずガスバルブ、圧力計を取付け、器具との接続は、ゴム管を使用してください。
- 配管と器具との間は、LPガス用ゴム管（検査合格マークまたは、JISマーク入り）を使用してください。
- ゴム管接続部は必ずホースソケットの根元までゴム管を差し込み、ホースバンドで固定してください。
- ガス配管工事および器具設置完了後は、必ず液化石油法に定められた気密検査を行ない、ガス漏れのないことを確認してください。

1. LPガスについて

- 1) LPガス（プロパン い号以上）を使用してください。
- 2) 使用ガス圧力は、 2.8 ± 0.5 kPa (280 ± 50 mmH₂O)です。
家庭用低圧調整器を使用してください。
- 3) ガス消費量は一台あたり12.3 kW (0.88 kg/h)です。設置する器具の台数により消費量に見合った調整器を使用してください。

2. 設置例



※ゴム管（オレンジホース）および電線を器具に近づけたり、接触しないようにしてください。

※天井に吊り下げるときは、器具に付属の「くさり」を使用するか、金属製のワイヤーを使用してください。

設置・工事をされる方へ

3. 配管について

- 1) 供給設備(LP容器等)は、転落・転倒しないように設置してください。
- 2) 設置例のように配管は、15A(R1/2)以上の配管用鋼管を使用してください。
- 3) 配管は容易に取りはずせないように、施工してください。
また、お客様に決して配管を取りはずしたりしないように指導してください。
- 4) 配管は畜舎の上部に設置し、水や消毒薬の影響のないようにしてください。
決して地面に、はわせたり、埋設したりしないでください。
- 5) 配管の末端には、ヒューズコックを使用してください。
コックやガス元栓は、開閉状態がよくわかるように明示してください。
- 6) ガス配管と電気配線は、接触しないように施工してください。また、配管と電気コンセントは100mm以上離してください。
- 7) ゴム管が器具の燃焼部に近づかないようにしてください。
- 8) 配管やゴム管内に土、砂、ゴミなどが入らないように注意してください。
電磁弁やバルブが閉じなくなったり、ノズルが詰まるなど、ガス漏れや異常燃焼の原因になります。
- 9) 設置例のように配管用鋼管または、フレキ管による施工がどうしても出来ない場合は、LPガス用ゴム管(検査合格マークまたは、JISマーク入り)を使用してください。
- 10) LPガス用ゴム管を使用する場合、ゴム管の継ぎたしや、二又分岐を使用することは、液化石油法により禁止されていますので、調節器の出口に分岐管(ヘッダー)を取付け、そこよりゴム管で器具一台ずつに接続してください。
ただし一本のゴム管は、3m以内に行ってください。圧損により不着火、立消え等の原因となります。
- 11) 器具の設置については、この取扱説明書の「安全上のご注意」「ご使用方法」等の項、および「設置・工事をされる方へ」の項をよく読んでください。
- 12) 配管および器具の設置後は、必ず空気抜きを行ってください。ヒューズコックが作動しないようにわずかずつ空気抜きを行ってください。
- 13) 全器具を作動させたときに、配管の一番遠い器具のガス圧が指定通りになっていることを確認してください。

設置・工事をされる方へ

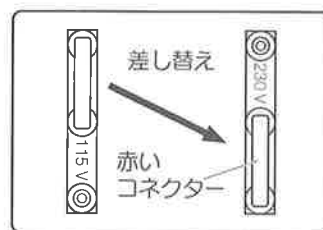
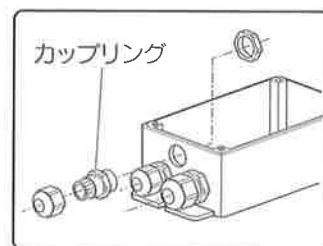
電気配線施工事業者の方へ

- 1) 使用電源はAC 100V (50Hz/60Hz) です。
- 2) 設置する台数により、消費電力に見合った漏電ブレーカーを設置し、アースも必ず設置してください。
アースは「電気設備に関する技術基準を定める省令」に従い、有資格者がD種接地工事を行ってください。
- 3) ガス管と電源コードなどの電気配線が接触しないように、施工してください。
- 4) 配線は畜舎の上部に設置し、水や消毒薬の影響のないようにしてください。また決して、地面に、はわせたり、埋設したりしないでください。
- 5) コンセントとガス管は100mm以上離してください。
- 6) 電源コードが器具の燃焼部に近づかないように設置してください。

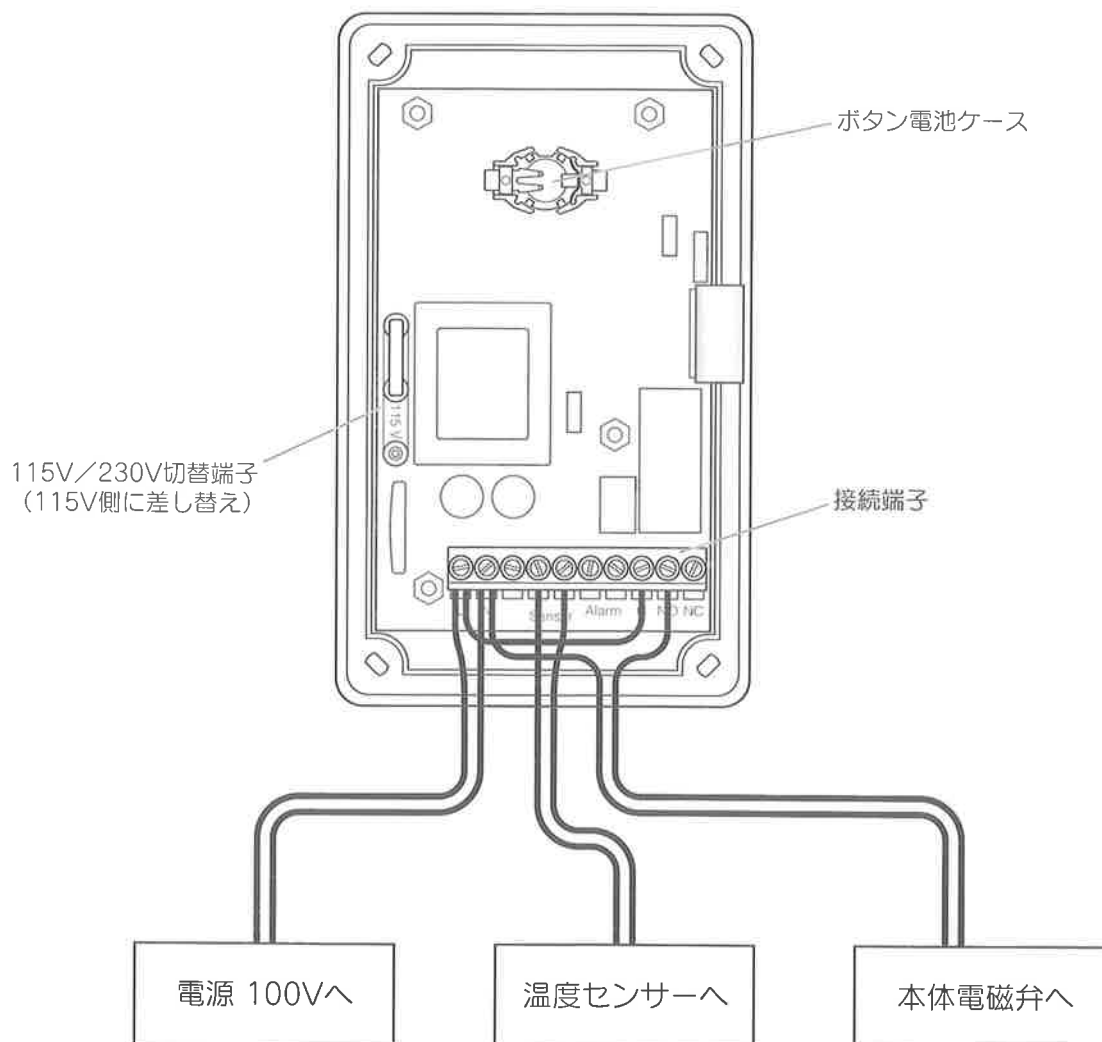
設置・工事をされる方へ

コントローラーの配線

1. コントローラーの上ケースを固定している、4本のネジをはずしてください。
2. サーモスタットの下ケースの3個の孔に、カップリングを取り付けてください。
3. 基板左側の赤いコネクターを115V側に差し替えてください。
(工場出荷時は230Vの側に差し込まれています。)
4. コントローラーの端子に温度センサー、本体側の電磁弁、電源、ジャンパー線を接続してください。
温度センサーのコードを延長するときは、 0.75mm^2 のコードを使用してください。



5. 配線が終わったら、ボタン電池 (CR1225 3V) の+を上側にして電池ケースに取り付けたのち、電源を入れ、温度表示の華氏「°F」表示を、摂氏「°C」に切替えてください。
(12ページ参照)



設置・工事をされる方へ

端子ソケットの配線

- ブルードー本体と、コントローラーをつなぐ端子ソケットを以下の手順で配線してください。

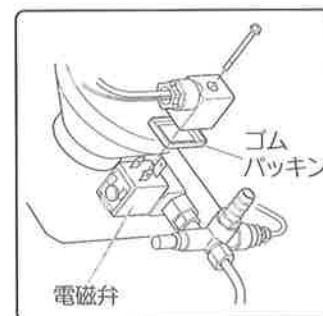
1. 端子ソケット裏側の端子台を、マイナスドライバー（幅3mm以下の先端が細いもの）で開けてください。



2. 電磁弁用電源線およびアース線を、右図のように端子台の端子に差し込み、側面のネジで固定してください。（電線に極性はありません。）



3. 端子台を元のように、端子ソケットケースに戻し、ゴムパッキンをかぶせてください。



4. 本体の電磁弁に端子ソケットを差し込み、ネジで固定してください。

保証書

ガソリック ブルードー

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。お客様の正常な使用状態において万一、器具本体が故障した場合には、この保証書の記載内容で修理をいたします。

1. 保証期間 お買い上げの日から一年間

2. 保証規定

- (1) 取扱説明書に従った正常な使用状態で、上記保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店、または弊社に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。無料修理いたします。
なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
- (2) 本書は製品に対するものであり、製品の故障に起因する、付随的損害について保証するものではありません。
- (3) 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)
- (4) 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- (5) 保証期間内でも次の項目による修理、点検交換は、有料になります。
 - ① 異常ガス圧、異常電圧の供給事情等による故障および損傷。
 - ② 使用上の誤りおよび不当な修理、改造等による故障および損傷。
 - ③ 使用者の故意および不注意によって生じた故障および損傷。
 - ④ お買い上げ後、取り付け場所の移動、落下等による故障および損傷。
 - ⑤ 火災、塩害、地震、落雷、風水害、降灰、煤煙その他の天災・地変による故障および損傷。
 - ⑥ ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入および行為に起因する故障および損傷。
 - ⑦ 注水、滴下水、浸漬、消毒薬散布および異常湿度等による故障および損傷。
 - ⑧ 熱による変色、洗浄水による錆等、設計仕様内の感覚的な現象の場合。
 - ⑨ 器具に表示してある以外のガスの種類で使用された場合。
 - ⑩ 消耗部品の取替え、および保守等の費用。
 - ⑪ 本書の提示がない場合。
 - ⑫ 本書にお買い上げ年月日、お客様名の記入、販売店名の記入捺印がない場合、あるいは、字句が書き替えられている場合。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料となります。

※本書は、上記に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについて、ご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

製品名	ガソリック ブルードー G12-Asco		
保証期間	お買い上げの日から1年間		
製造番号			
お買い上げ日	年	月	日
お客様 ご住所	販売店 住所		
お名前	様		店名
電話番号	-	-	電話番号 - -

岩谷産業株式会社
自然産業本部

〒105-8458 東京都港区西新橋3丁目21番8号
TEL 03-5405-5922 FAX 03-5405-5635

輸入元

Iwatani

岩谷産業株式会社

自然産業本部

東京本社 〒105-8458 東京都港区西新橋3-21-8
TEL:03-5405-5922 FAX:03-5405-5635

販売元

イワタニ・ケンボロー株式会社

本社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町3-5 郵船兜町ビル4階
東京営業所 TEL:03-3668-5360 FAX:03-3668-5368
札幌営業所 〒060-0908 札幌市東区北八条東3丁目1-1 宮村ビル304号
TEL:011-807-8261 FAX:011-807-8262
東北営業所 〒023-0003 岩手県奥州市水沢区佐倉河字梨田川71-1 伸和ハウスビル2階
TEL:0197-22-8301 FAX:0197-22-8304
大阪営業所 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-11-7 信濃橋三井ビル912
TEL:06-6448-8766 FAX:06-6448-8767
九州営業所 〒880-0805 宮崎県宮崎市橋通東5-4-8 岩切第2ビル5階
TEL:0985-23-5543 FAX:0985-23-5561